山口　茜さん（バドミントン）
応援レポート

第72回国民体育大会
2017年10月6日（金）　愛媛県砥部町
陶街道ゆとり公園体育館

地元福井県の期待を背負って「成年女子」団体戦に初出場

今年社会人2年目となった山口さん。所属の再春館製薬所は熊本県の企業だが、山口さんは故郷福井県からの出場を選んだ。

実は来年の国体は福井県で開催される。山口さんは昨年リオ・オリンピックに出場したこともあり、国体には不出場だった。今回は来年のためにも、いい結果を残しておきたいところだ。

初戦の相手は山口県。1試合目のダブルスはチームメイトの2人が登場。山口さんはフロアから応援していたが、相手に分があり福井は1敗となった。

試合前の挨拶。山口さんは一昨年の和歌山大会「少年女子の部」で優勝を果たして福井県に貢献。整列の一番左が山口さん

●バドミントンの基礎知識●

試合は3ゲームマッチで行われ、先に2ゲームを先取したほうが勝ち。ファーストゲーム（第1ゲーム）、セカンドゲーム（第2ゲーム）と進め、1対1になった場合は、ファイナルゲーム（第3ゲーム）が行われる。1ゲームは21点で、先に21点取ったほうが勝ち。ただし、20対20になった場合は、延長ゲームとなり、2点差がついた時点で終了。

国体は男女/成年・少年の部ごとに3名でチームを組む。①ダブルス②シングルス③シングルスの順で試合を行い、先に2勝したら勝ち

山口さんがシングルス勝利したものの
福井チームは1勝2敗で初戦敗退。この結果を来年への糧に！

ここで負けたら後がない2試合目シングルスに、いよいよ山口さんが登場。相手は一昨年のインターハイで優勝を競った齋藤選手だ。まず第1ゲームは9-10で譲っていたが、後半になると山口さんが連続してポイントを決めて1ゲームを先取。第2ゲームもこのまま、と応援していたら、齋藤選手の気迫のプレーに手こずっている様子。今や世界ランカーの山口さんのスキをよく突いて、ゲームを奪った。カウントは1-1に。しかしファイナルゲームで山口さんが本領を発揮。前後左右にシャトルを操って点差を広げ、チームに1勝を勝ち取った。

が、最終戦のシングルで、福井が敗北。1勝2敗で初戦敗退となった。

試合後の取材で「成年女子の部は実業団メンバー主体のチームが上位にくるが、福井は山口さん一人だけ」と苦境を語る監督さん。それでも「生まれ育った福井から出たかった」と山口さん。目標は、と問われて「優勝です」とチームメイトと笑顔で答えた。「見ている人がワクワクするような試合がしたいです」。

結果は残念だったが、一方で伸び代はたっぷりある。山口さんと福井チームのチャレンジが楽しみだ。

第一ゲームを21-10で取ってひと安心したが、齋藤選手（写真下　赤のウエア）も西京銀行の実業団選手。熱戦を見せてくれた

結果

地元福井への愛情と、
来年の勝利を誓う山口
さん

成年女子 1回戦

砥部町陶街道ゆとり公園体育館（砥部町）
10月06日 12:30

山口	2	—	1	福井
単	1	—	1	
複	1	—	0	
米元, 今井 ○	2	21 — 10 21 — 12	0	竹内, 綿矢
齋藤	1	10 — 21 21 — 14 11 — 21	2	○ 山口
今井 ○	2	21 — 14 21 — 17	0	綿矢

「成年女子」の優勝は秋田。
再春館製薬所実業団メンバーで構成
する熊本はベスト4だった